

◇平成元年2月

鉄道記念館オープン

国鉄宮之城駅跡が生まれ変わり、宮之城鉄道記念館としてオープンした。

記念館は、日本の鉄道がドイツの技術を手本にしたことにちなんでルネッサンス建築様式を参考にデザインされた。

◇平成元年4月

パソコン教室完成

宮之城中学校に、生徒用のパソコン41台と先生のパソコンが連動し、ヘッドセットで会話もできるパソコン教室が完成した。

◇平成2年10月

歴史研修センター開館

木の特性を活かした大型木造建物で、林野庁のモデル木造施設の指定を受け建設された歴史研修センターが開館した。

外観は、町の特産である竹の斜め切り、半割り、四つ割りを組み合わせ、全体を「五ツ太鼓」をモデルに設計され、内装も竹の集成材が多く使用された。

◇平成2年10月

全国竹の大会が開催

第31回全国竹の大会鹿児島県大会が開催され、39都道府県から1,800人が参加し、竹を通して交流を図った。



盛大に開催された全国竹の大会（町文化センター）

◇平成3年7月

紫尾山ふれあいの森オープン

紫尾山の中腹に、大自然をそのまま活かした紫尾山ふれあいの森がオープンした。

ふれあいの森には、炊事施設、キャンプもできる森林体験学習舎、野鳥観測所、パンガローなどが整備された。

◇平成3年7月

救急センターが完成

24時間体制の救急医療機能の充実など地域医療のニーズに応えられる医療体制が整備された薩摩郡医師会病院救急センターが完成した。

◇平成4年4月

総合体育館が完成

平成2年度から建設中の総合体育館が完成し、4月17日に落成式が行われた。

4月26日には、落成記念行事として区公民会対抗バレー特別大会が行われ、また5月17日には日本バレーリーグで優勝した日立チームを招待し、こけら落としが行われた。



こけら落としで行われた紅白試合

◇平成5年6月

かぐや姫の里オープン

特産の竹を活かした公園づくりを基本に、多目的グラウンド、ちくりん公園、ちくりん庭園が整備され、多くの人がレクリエーションなどの憩いの場として利用できるかぐや姫の里がオープンした。

◇平成6年9月

県民体育大会が開催

第48回県民体育大会が川薩地区を主会場とし、46競技で熱戦が繰り広げられた。

本町でもラグビー、女子ソフト、バレー、相撲の4競技と公開競技の山岳が行われた。

川薩地区は、総合成績2位となり躍進賞に輝いた。

◇平成6年10月

平川の郷オープン

高さ10メートルのかぐや姫をシンボルタワーとし、果物、野菜、加工品、竹製品などを販売する生産直売所や温泉などが整備された平川の郷がオープンした。

管理運営は、地元の平川地区に委託された。